

ノヤマ通信

vol.19 (2024.睦月)



森のようちえんヒュッテ

【12月の活動記録：4日桂川溪谷、7日歴博、14日山の基地、21日餅つき】



▲今年も宇和の佐藤さんご夫妻のご協力のもと、山の基地で餅つきを実施しました。もち米は城川の梅川さんから寄贈していただきました。ありがとうございました！

●活動を見つめるコラム

「失敗をちゃんと味わう（大人も）」

12/21、雪が降る中でもちつきを行いました。山の基地でのもちつきは、2022年に続いて2回目。1度やっているのだから勝手がわかり、準備は比較的スムーズにできたと思います。今年は3うすぶんのもち米を蒸しました。

さて、「じゃあやりますか！」と1回目の餅つきを開始してすぐのこと。僕がふりあげた杵に蒸したもち米がひっついて、まるごとドサッと地面に落ちるといふハプニングが!!!「あ…」と固まっていたら、「大丈夫、大丈夫」と、地面に落ちたもち米を周りの人が拾って「土がついてないところはイケるよね」ときれいなところを集めて、気を取り直して餅つきを再開する、という一幕がありました。

失敗からの学びは多く、その後は、杵を持ち上げる時に慎重になったし、終わってからも「杵をもう少し水でぬらしておいたらよかったね」とか「来年はうすの周りにビニールシート敷いておこうか」とかいろいろなことを考えたので、来年はきっともっとうまくやれるはずですよ😊！

ヒュッテの活動では、子どもたちにもいろんな失敗を経験してほしいと思っていて、先回りして手助けすることをできるだけ控えています。大人も失敗を味わい、そこからの立ち直りを子どもたちにしっかり見せていけたらな、と思います。(ゆ)

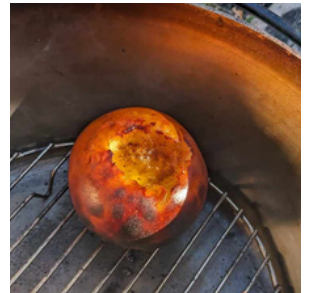


▲12/24 山の基地の開放日

👤👤 山の基地

【12月の活動記録：18日、20日日常管理、10日、24日開放日】

●寒くなってきたので、開放日はたき火でいろいろな調理をする人が増えていきます。12/10は焼き芋や焼きリンゴ、チョコバナナなどたくさん甘いものがならびました。



●12/24は、雪が残る中での開放日でした。

雪だるまをつくったり、雪合戦したり、そりすべりをしたりと、雪遊びをたくさん楽しみました😊。



●一昨年くらいから腰を据えて着手し始めたキウイの剪定。今季は、上段～最上段の畑に手を付けています。枝が伸び放題でジャングルのようになっているところには、実がたくさんなっているのですが、いかにせん管理がしづらいので、一度さっぱりと枝を切って、手入れしやすいようにしていきます。



枝をはりめぐらせるための鉄線も張りなおしたりして、今季で一通りキウイ畑全体に手を加える予定です。

✿✿ その他の活動

●12/12一年のふりかえり会

森のようちえんのお母さんたちに声をかけて、1年間のそれぞれの暮らしを振り返る会を開催しました。

産休を終えて仕事に復帰することを考えている人、思い出すのは自分ではなく子どものことばかりといった人など、お子さんの年齢によって立場は違いましたが、お互いに話をじっくり聞き合うことができ、よい時間だったかなと思いました。

●12/14四国圏域生態系ネットワーク推進協議会視察対応

国土交通省四国地方整備局主催で、宇和盆地に飛来するツルの保護活動の取り組みの視察があり、市役所の職員さんたちと一緒に現地視察の一部を対応をしました。

実はこの会の運営を請け負っていた団体が、私たちが新卒で就職した職場だったので、元同僚たちと顔を合わせるといふサプライズもありました。

●論文執筆中… 😓

10月の日本ジオパーク全国大会の分科会で発表した内容を、ジオパークの電子ジャーナルに投稿することになり、原稿の執筆作業に追われていました。最近は翻訳ツールとかもずいぶん優秀になっているので、文章の英訳はだいぶ楽になっていますが、年明けに締め切りがあったので、年始から執筆作業に時間を取られました。(ゆ)

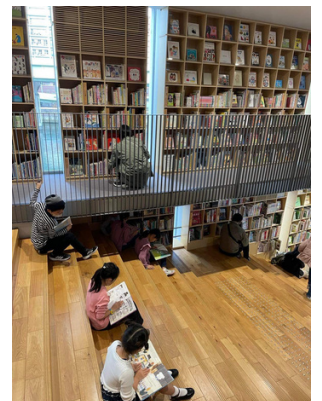
🐣 よもやま話

●12月中旬、関西方面に行く用事があり、気になっていた「こども本の森中之島」に行ってきました。この施設は、建築家の安藤忠雄さんが大阪府に寄付された文化施設で、この日は運よく予約なしでも入館できました。



入館してまず、おお！と思ったのは、テーマ別の選書です。館内の本は12のテーマで分けられているのですが、「まいにち」とか「ものがたりと言葉」とか普通の図書館では見ない分け方で、館内に入っただけの場所が「自然とあそぼう」でした🌳

また、子どもが座りやすい椅子やちょっと落ち着けるような、隠れ家的なスペースもありました。好きな本を持って、階段に座って本を読むこともできます。山の基地にもこうした空間を作れるといいなあと思いました(ち)。



📖 おすすめの本

●以前、読み始めて一度挫折した本を大洲の図書館で見つけてなんとか読み終えたのですが、とてもおもしろかったです。



“子どもが主体的に、自由に遊ぶ中で学びとすることは、他の方法では教えることはできないのです。”という文章がとても印象に残り、ヒュッテでいろんな遊びをしている子どもたちの様子を思い出しました。

他にも「異年齢で遊ぶことの効果」について、年長者の視点からも書かれていて興味深かったです。(ち)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com